

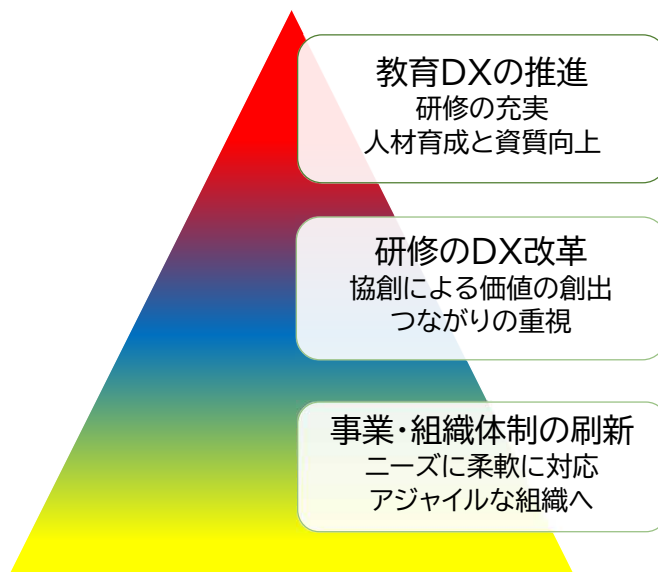
宮教研連DX推進計画



日本社会全体がDX化にむけて大きく変革していく時代の流れの中で、創設50年を誇る私たち宮教研連も、新たな時代の流れに沿った力強く柔軟な組織への変革が不可欠です。その根本指針となるのが、このDX推進計画です。この計画により、教育DX、研修DX、組織DXを強力に推進していきます。

1

宮教研連DX推進計画



計画の目的

社会全体が大きくDX化していこうとする中で、私たち宮教研連も、研修のDX化を図り、本県における教育DXを推進する必要があります。

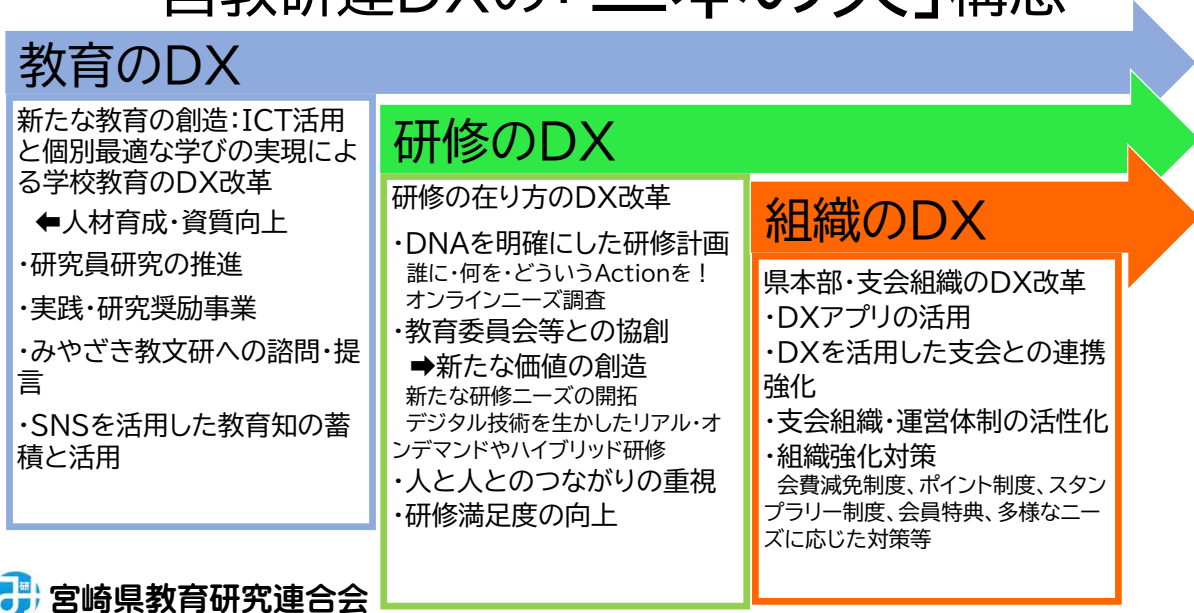
そのためには、関係機関との協創による会員視点の新たな価値の創造とデジタル技術を活用して、研修の改善を進めます。また、宮教研連の強みである人と人とのつながりを大切に、研修満足度の向上に努めなければなりません。

そのためには、会員のニーズに柔軟に対応した事業体制の構築と、我々自身もその存在意義を見直し、組織体制の刷新を進めることが不可欠です。

 宮崎県教育研究連合会

2

宮教研連DXの「三本の矢」構想



宮崎県教育研究連合会

3

DX推進ロードマップ

計画完成年度を令和5年度末とし、令和6年度から全面運用する。

	R3年度下期	R4年度上期	R4年度下期	R5年度上期	R5年度下期	R6年度上期	R6年度下期	R7年度上期
組織のDX ①DXアプリの活用	計画	試行期		運用期	見直し期		見直し期	
組織のDX ②組織強化対策の推進	計画	試行・検討期		運用期	見直し期		見直し期	
研修のDX ①研修の再構築	計画	試行期	次期検討期	実施期	次期検討期	実施期	次期検討期	実施期
研修のDX ②教育委員会との協創	計画・準備期		実施期	見直し期		実施期		
研修のDX ③会員視点での改革		計画・準備期		試行期		実施期		
教育のDX ①研究推進		計画・準備期		試行期		実施期		
教育のDX ②みやざき教文研との連携	計画・準備期		試行期			実施期		

宮崎県教育研究連合会

4

令和4年度 宮教研連 教員採用模試 開催要項

宮崎県教育研究連合会

1 目的

- ・県内各学校に勤務する講師等を対象にした「教員採用模試」を、宮教研連の主催で開催することにより、宮教研連という組織を知っていただき、加入の促進を図る。
- ・会員である講師に対しては、割引価格で受験できるようにし、宮教研連に所属している価値を感じていただく。
- ・教員採用模試の実施を通して、宮崎県の教員の資質向上に寄与する。
- ・感染症の影響を考慮し、会場受験と在宅受験のハイブリッド開催(どちらでも対応できる)として計画する。

2 実施計画

時事通信出版局が実施している全国公開模試を、「学内実施」として実施する。

※感染症等拡大を踏まえて、会場受験と、自宅へ問題を送り、解答し、返送する在宅受験のハイブリッド開催として実施する。**会場受験実施の最終判断日を令和4年5月7日とする。**

(1) 実施日(会場受験)

時事通信出版局が実施している全国公開模試を、「学内実施」として実施する。

期日	会場	成績返却予定	備考
令和4年 5月21日(土)	宮崎県教育 研修センター	7月上旬	※時事通信出版局5月模試・ 教職教養:マークシート方式/専門教養:記述式

(2) 日程(会場受験・在宅受験のハイブリッド開催の場合)

教職教養及び専門教養の受験者		専門教養のみの受験者	
9:00~9:40	受付	※専門教養のみの受験者数によっては、移動の必要がなくなるため、時間が変更になる場合がある。	
9:40~9:50	事前説明・問題配布	9:40~10:20	受付
9:50~10:30	教職教養試験(40分間)	10:25~10:30	事前説明
10:30~10:45	休息	10:30~10:45	移動
10:45~10:50	事前説明	10:45~10:50	事前説明
10:50~12:00	専門教養試験(70分間)	10:50~12:00	専門教養試験(70分間)
12:00~12:10	諸連絡、終了	12:00~12:10	諸連絡、終了

★教職教養のみの受験者は10:30終了。

★専門教養受験者は、試験開始40分後の11:30以後、途中退出可能。再入場は不可。

(3) 実施までの流れ(会場受験・在宅受験のハイブリッド開催の場合)

告知・申込	R4.4~	—	受験希望者は、Webから申し込んだ後、氏名・自宅住所を記載した返信用封筒
受験申込締切	R4.4/27	—	(角2号)2通を事務局へ郵送し、同時に、受験料を本会口座へ振り込むか、事務局へ持参する。受験料受領確認をもって、申込受付完了となる。締切日以降は受付できない。必着のこと。
時事通信申込	R4.4/29	—	事務局でとりまとめて、時事通信社へ申込書送付
教材受領	R4.5/6	—	事務局で教材受領後、速やかに受験者へ発送(返信用封筒①を使用)
試験実施終了	R4.5/21	—	在宅受験者は、自宅で模試を実施し、事務局へ速やかに返送する。締め切り日に遅れた場合、採点集計・成績結果送付ができない。(問題用紙受領済みのため、返金等の対応もできない。)
会場試験実施	R4.5/21	—	会場受験者は、会場に集合し、模試を受験する。
解答用紙発送	R4.5/21	—	解答用紙をまとめて、時事通信社へ送付
成績結果受領	R4.6/24	—	成績結果受領
成績結果送付	R4.7/1	—	成績結果受領後、速やかに受験者へ送付 以後 (返信用封筒②を使用)

申込Web <https://forms.office.com/r/95Ptm3fjUk>

3 受験料(在宅受験の場合で算定)

(税込み)

区分	教職教養	専門教養	送料等	合計	備考
個人受験	¥1,650	¥2,750	¥500以上	¥4,900以上	個人で申し込む場合
非会員	¥1,210	¥1,980	¥750	¥3,940	団体割引
会員	¥600	¥800	¥500	¥1,900	会費からの補助
受験時間	40分	70分			

※送料等は、解答用紙の出版局への返送、および、結果通知送付のための経費である。送料は、在宅受験の場合を想定して算定している関係から、会場受験者には、会場にて、送料の一部(200円)を返金する。

※教職または専門のみの受験も可能。

★会員である講師については、本会からの受験料補助を行い、上記負担額とする。

4 申込書・解答用紙等郵送先・受験料送付先

宮崎県教育研究連合会 事務局 〒880-0027 宮崎市西池町9-8 校長会館2階 口座 宮崎太陽銀行 北支店 (普通) 1168587 名義 宮崎県教育研究連合会 事務局長 梶木満 お問合せ 宮教研連事務局 TEL 0985-27-4508 / 携帯 090-5416-0833

令和4年度 教員採用二次面接対策(案)

1 趣旨

本県は、大量退職期になり、若手教師が採用されやすい時期である。このような中で、採用された若手教職員に、「宮教研連」の存在を知っていただき、将来の加入に向けた取組が必要である。

そこで、講師・学生を対象とした教員採用二次面接試験と同様の臨場感や緊張感を伴った、しかも、実力試しができる模擬試験を実施することで、受験生のレベルアップを図り、宮崎県の教育向上に寄与する。

2 事業内容

- 会場(学校ではない場所、研修センターや校長会館等)において、実際の試験と同様の臨場感・緊張感を伴った面接試験を行う。
- 試験終了後に、適切なアドバイスを与え、受験生のレベルアップに寄与する。
- 令和3年度は、試験的に実施した。令和4年度以降は、採用試験変革の動向を注視しながら、内容を検討していく。

時間設定案[←]

① 9:00～ 9:30

② 9:35～10:05

③10:10～10:40

休息[←]

④10:55～11:25

⑤11:30～12:00

昼食[←]

⑥13:00～13:30

⑦13:35～14:05

⑧14:10～14:40

休息[←]

⑨14:55～15:25

⑩15:30～16:00

⑪16:05～16:35

3 対象

教採用模試(一次試験模試)の受講者 その他 希望者 先着 11 名
(希望者多数の場合、予備日7日、会場:校長会館)

4 面接試験要領

- (1) 期日 令和3年8月6日(土) (県採用試験日により変更の可能性あり)
- (2) 時間 午前9時～午後4時、一人ずつ、30分間程度で実施。
- (3) 会場 宮崎県教育研修センター(宮崎市西池町9-8 駐車場:有)
 面接室:2階 控室:1階
- (4) 内容 個人面接 15分間程度
 面接官によるフィードバック 15分程度
 面接官は、元校長等2・3名。タイムキーパー1名。
 受付1名、控室対応(面接要領の説明)1名

分	-5	0	15	30	35	50	65	70	85	100	115	130	145
①	待機	移動	面接①	FB①	退出								
②			待機	移動	面接②	FB②	退出						
③					待機	移動	面接③	FB③	退出				
④							待機	移動	面接④	FB④			

二人目以降は、面接開始時間30分前までに、受付を終え、控室で待機。

5 日程

期日	事項	内 容
5/21(土)	広報	一次試験受験者にチラシを配布。在宅受験者には問題配布時。
7/1頃	調査	模試結果配布時に、希望調査を同封。同時に、メールでも送付。合わせて、Web等でも、公募する。
7/22(金)	締切	希望調査の締切。面接時間の割り振り
7/29(金)	通知	面接時間を、受験者に個別にメール等で通知
8/6(土)	当日	

令和4年度 宮教研連 Empower Meeting

1 目的

- (1) 宮教研連の全ての会員が、学んだり他の会員と交流したりできる場を確保するため、及び、アウトプットの学びの場、インプットの学びの場となる研修の機会を確保するため、オンラインで定期的に研修機会を設ける。
- (2) 本会の特色である「会員の多様性」を生かし、柔軟で幅広い研修内容を提供する。
- (3) 魅力的な研修の機会を一定量確保することにより、新規会員の獲得につなげる。

2 研修の概要

- (1) 研修日時及び頻度
毎月第1、第3土曜日 午前8時00分～9時00分（1時間以内）
- (2) 対象
宮教研連 全会員
※4回に1回程度はオープン参加とし、非会員も参加できるようにする。
- (3) 開催方法
Zoom アプリを活用したオンライン研修
- (4) 研修形態
研修内容に応じて、柔軟に研修形態を組み立てていく。
(例)
 - 講師を設定した知識伝達型
 - 参加者によるレポート交流型
 - テーマをもとに対話を行うパネルトーク型
 - 教材・教具等の作成などのワークショップ型
- (5) その他
話題提供は基本的に会員が行う。会員にとってのアウトプットの場になるようにする。

3 研修実施の流れ

- (1) 研修前
 - ・話題提供者の確保・依頼を、県本部担当が行う。
 - ・プラットフォーム（Slack）上で、ZoomのID等を伝達する。
- (2) 研修時
 - ・基本的に県本部担当がファシリテーターとして、場の進行を行う。
- (3) 研修後
 - ・ミーティング動画、研修に使われた資料をアーカイブとして残し、全会員がアクセスできるようにする。
 - ・プラットフォーム上で参加者は感想を伝え、話題提供者へのフィードバックと新たな関係性を創るきっかけとなるようにする。

4 広報・参加申込

- (1) 広報
 - ・会報、チラシ、Web、会員からの声かけ、口コミ等、幅広く広報を行う。
- (2) 参加申込
 - ・Web上に参加申込フォームを設ける。
 - ・2回目以降は、プラットフォーム（Slack）からの申込も可能とする。

令和4年度 宮教研連 研修モニター制度

宮崎県教育研究連合会

1 目的

宮教研連主催の研修について、研修の内容や質の向上をはかるため、研修に参加していただいた幅広い年齢層の会員から、ご意見・ご感想を頂戴し、今後の計画に役立てる。

2 募集人数 （年齢は令和4年4月1日現在）

- 若年層 4名程度 一般職（講師を含む）で20～39歳
- 壮年層 4名程度 一般職（講師、再任用を含む）で、40～65歳
- 管理職 4名程度 校長、副校長、教頭（年齢問わず）

3 モニター内容

宮教研連主催の研修会に参加して頂き、以下の中から、2件以上5件以内の研修について、ご意見、ご感想を、Web上から投稿して頂く。

- ・依頼期間：令和4年4月15日から令和5年2月末とする。
- ・謝礼 1件につき1000円程度（最大5000円）の謝礼を支払う。
2月頃に一括して、ギフトカードなどの方法で支払う。

・対象研修

	研修名	期日		研修名	期日
A	教師力向上セミナー①	R4.4/23	D	スクールマネジメント研修①	R4.6/25
B	教師力向上セミナー②	R4.10/29	E	スクールマネジメント研修②	R4.7/23
C	教師力向上セミナー③	R5.1/14	F	スクールマネジメント研修③	R4.11/12
G	宮教研連のつどい	R4.8/27	※日時は中止や変更になる場合がある。		
H	九州ブロック会議（2日目）	R4.12/11			

※ 研修選択上の注意

- ・3つ以上を選ぶ場合には、必ず、Gの宮教研連のつどいを含めること。
- ・若年層のモニターの方は、B、Cをできるだけ含めること。
- ・管理職のモニターの方は、D、E、Fをできるだけ含めること。

例：若年層のモニターの方は、A、B、C、G、Hの5つを選ぶなど。

※ 指定された研修以外（全日教連の研修や支会の研修等）での応募は無効。

※ 投稿は、研修受講後、3日以内に行うこと。

※ Webからの書き込みは、一人一回のみとする。複数回行った場合、最終のものを採用する。

※ 頂いたご意見を、本会のホームページや会報等で紹介する場合（匿名）がある。

4 モニター応募

- ・申込方法 <https://forms.office.com/r/bh8f18vnJN>
上記フォームより、申し込む。 QRコード➡
- ・申込期間 定員に達するまで。万一、定員を超えた場合、先着とする。
モニター採用後、本人にモニター委嘱状を送付する。
- ・応募資格 申込時点で宮教研連会員であり、令和5年3月末まで継続予定の方。宮教研連県本部役員を除く。
- ・注意事項 研修参加に必要な交通費、Web機材、通信費等はモニターの自己負担。



お問い合わせ

事務局 宮崎市西池町9-8 校長会館2階 〒880-0027
TEL&FAX (0985)27-4508
Mobile 070-5416-0833
E-Mail jmkc@miyakyoukenren.sakura.ne.jp

宮教研連 研修・事業 オンラインニーズ調査

宮教研連広報部

1 目的

- ・会員・非会員を問わず、研修や宮教研連事業に関するニーズや意見を集め、今後の事業計画や研修計画に生かす。
- ・できるだけ広く調査を行うことで、宮教研連の事業への周知を図る。

2 内容

所属校種、職種、会員・非会員、教職経験年数、年齢、受講希望研修の内容、気になる教育キーワード、研修の時間帯や時間、事業への意見 他

3 実施方法

Web上にアンケートフォームを設け、広く、広報し、情報を集める。

<https://forms.office.com/r/iWHv7HRDpt>

4 実施期間

- ・集約期間
令和4年2月～
7月
- ・分析期間
令和4年8月
- ・結果報告
令和4年10月

宮教研連 研修・事業 ニーズアンケート

今後の宮教研連の事業に生かすため、研修などのニーズを調査したいと思います。アンケートの完了まで5分程かかりますが、ご協力をお願いします。できる限り多くの情報を集めたいので、お知り合いの先生方へもお声かけをお願いします。宮教研連会員でなくても、大歓迎です。(アンケートは、お一人、一回のみ行ってください。)

* 必須

1. あなたの所属校は？ *

- 小学校
- 中学校
- 義務教育学校・小中一貫校
- 高等学校
- 特別支援学校
- 中高一貫校
- その他

2. あなたの職種は？ *

- 校長
- 教頭
- 主幹教諭
- 指導教諭
- 教諭
- 講師
- その他

3. あなたは宮教研連会員ですか？ *

- はい

QRコード

宮教研連バザー実施計画

宮崎県教育研究連合会

1 趣旨

- ・宮教研連会員から寄付・提供された物品を、研修大会の際などに、バザー等において、他の会員の利用に供することで、資源の有効活用を図る。
- ・退職の会員など、身の整理も必要ではあるが、まだ、使えるのに捨てるにはもったいないものも少なくないと思われる。そうした物品をご寄付して頂き、資源の有効利用を図りたい。
- ・これまでになかった新たな事業を行うことにより、会員の宮教研連やその事業への関心を高める。

2 提供物品

(1) 書籍類(教育書、他)

○ 種別

概ね、出版後 30 年以内の単行本、新書、文庫等とする。

月刊雑誌については、過去3年以内のもので、1年間分が揃っているものとする。ただし、「○臨時増刊号」などのものは単品でも構わないとする。週刊雑誌など、部数の多いもの(内外教育や教育新聞等)は除く。

巻数の多い百科事典等は除く。

○ 内容

教育書全般(教育学、教育思想・政策・制度、学校経営・管理、学校保健、教育課程、学習指導、教科・道徳教育、幼児・初等・中等教育、特別支援教育、社会教育、他)、及び、心理学、哲学、教科教育に関わるもの(自然科学、芸術などの分野のものも含む)、人生哲学、自己啓発書関係、他とする。小説などの一般文学は除く。

(2) 教材教具・文具等

原則、市販品で、PC 周辺機器も含む。文具は、未使用品(または、未使用同等品)とする。PC 本体、プリンター等、大型のものについては、要相談。

3 提供物品の受け入れ等

- | | |
|------------|---|
| (1) 受け入れ場所 | 宮教研連事務局 (宮崎県校長会館 2 階) |
| (2) 受け入れ期間 | 令和 4 年 7 月末まで |
| (3) 物品提供方法 | 持ち込み、郵送・宅配便等(送料は提供者負担)
持ち込み等が困難な場合は、要相談。 |
| (4) 物品の管理 | 物品の保管は原則2か年とする。
2か年を経過したものは、古書店やリサイクルショップなどに売却し処分する。 |

4 バザー実施方法

宮教研連主催の「宮教研連のつどい」などの研究会等の際などに、バザーを実施する。
各研修会のチラシ等で、実施の広報を行う。

お問い合わせ

事務局 宮崎市西池町9-8 校長会館2階 〒880-0027
TEL&FAX (0985)27-4508
Mobile 070-5416-0833
E-Mail jmkc@miyakyoukenren.sakura.ne.jp

令和四年度 大会宣言（案）

我々は、長引く新型コロナウイルス感染症に対し、国民一丸となって対策を講じている中、一致団結して教育の質の保障及び教育環境の改善に努めるべく、第五十四回代表委員会を開催し、令和四年度の活動方針を確認した。

宮崎県教育研究連合会は、昭和四十四年に組織を結成して以来、五十年以上に亘り、ひたすら児童生徒の健全な育成に情熱を傾け、本県の教育の充実発展を目指して不断の努力を積み重ねてきた。その地道な取組は、綱領に定める中正不偏の教育の推進に大いに貢献するものである。今後、我々は先輩諸氏が築き上げてきた実績を引き継ぐ中で、時流を的確に捉え、社会の要請に応える教育を創造していくことに矜恃をもって邁進していく所存である。

現在我が国は、複雑で予測困難な時代の到来を迎え、誰一人取り残すことなく、全ての子供たちの可能性を引き出す教育を推進する「令和の日本型学校教育」の構築を進めている。このためには、我々教職員一人一人が社会環境の変化に柔軟に対応し、自らの資質・能力を向上させ、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に推進する必要がある。また、学校における働き方改革を更に進めることにより教育活動を充実させ、将来の我が国を担う子供たちの健全育成に寄与しなければならない。

我々は、教育専門職としての使命と責任を自覚し、自らの資質向上に努め、より質の高い教育を実践するとともに、組織の改革と充実に向けて、なお一層の努力を怠りなげなければならない。このような我々の努力が、多くの教育諸課題の解決につながり、真に宮崎県民からの負託に応えるものとなることを確信している。

これらの決意のもと、我々は、ここに次のことを誓う。

- 一、美しい日本人の心を育成し、日本人としての誇りを培う教育を実践する。
- 一、教育専門職としての自覚をもち、高度な専門性と幅広い見識や、豊かな人間性を身に付け、質の高い教育を展開する。
- 一、宮崎の教育に責任をもつ良識ある職能団体として、組織強化と拡大に努める。
- 一、教育諸課題の解決に全力で取り組み、明日の宮崎を担う子どもたちの健全育成に邁進する。

右、宣言する。

令和四年五月二十八日

第五十四回宮崎県教育研究連合会代表委員会